

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	旅券事務市町権限移譲事務費						予算主管課	観光国際課					
	事 業 概 要	市町に権限移譲している旅券事務について、市町旅券窓口の機器の保守委託料や人件費等の経費を交付するとともに、市町指導等を行い移譲事務の円滑な推進を図る。						始期	1945					
								終期						
	K P I	市町窓口における旅券発給申請件数等（県民千人当たり）												
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
			R 4 年 度	目標値	14 件／千人		目標値	16 件／千人		目標値	18 件／千人			
		実績値	6.7 件／千人		実績値	15.4 件／千人		実績値	18.8 件／千人		実績値	件／千人		
		ストック /フロー	フロー	達成率	110 %		達成率	117.5 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	18671 千円		最終現計 予算額	13716 千円		最終現計 予算額	23062 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額			18070 千円		決算額	12818 千円		決算額	21717 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円				
						不用額	1345 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因 R8.9月頃判明。												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度もKPIの目標程度の実績が見込まれるが、8年度は旅券手数料の減額による増加要因はあるものの円安や物価高騰、海外治安状況等の阻害要因もあり、今後の動静が見通せないことから、8年度における事業の見直しは想定しておらず、現行制度に基づく9年度予算の見直しも想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	松山空港魅力向上支援事業費								予算主管課		観光国際課				
	事 業 概 要	松山空港において、賑わいや愛媛らしさがあふれる空間の創出に取り組む経費を補助する。								始期		2022				
										終期						
	K P I	松山空港魅力度														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
			R 4 年 度		目標値	3.9 点		目標値	4 点		目標値	4.3 点		目標値	4.5 点	
		実績値	点		実績値	3.9 点		実績値	3.9 点		実績値	4.3 点		実績値	点	
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	97.5 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	3093 千円		最終現計 予算額	1600 千円		最終現計 予算額	1440 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				1631 千円		決算額	998 千円		決算額	1440 千円		決算額	千円		
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	千円		不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因													
			総括													
見直し方向性		維持	7年度の松山空港利用者数は過去最高を更新し、今後も更なる利用者増が見込まれることから、利用者の利便性・快適性向上につながる本事業による施設整備を継続することで、KPI向上が期待できる。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初

7 年 度	事業概要	事項	松山空港国際線利用促進事業費						予算主管課		観光国際課		
			松山空港国際線の利用促進に向け、官民一体となった取組みを展開する。						始期	1991			
									終期				
	K P I	松山空港に就航する国際線の増便数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
			R 4 年 度		目標値	7 便		目標値	21 便		目標値	22 便	
		実績値	5 便		実績値	7 便		実績値	15 便		実績値	19 便	
		ストック /フロー	ストック		達成率	171.43 %		達成率	71.4 %		達成率	86.4 %	
		コ ス ト	最終現計 予算額	1387 千円		最終現計 予算額	1248 千円		最終現計 予算額	1348 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額		1387 千円		決算額	1248 千円		決算額	1348 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円		
							不用額	千円		不用額	千円		
要因分析	要因 上海線の運休による。												
	総括												
見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を下回っているものの、6年度から7年度にかけて達成率が15%上昇しており、8年度以降も本事業を継続することでKPI目標の達成につながると考えられることから、8年度の執行方法や9年度の予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初、6 月補 正、2月 補正	事 項	松山空港国際化支援事業費						予算主管課		観光国際課			
事 業 概 要	松山空港国際線を維持するため、松山空港ビル（株）が航空会社に対して行った空港施設使用料等の助成相当額を補助する。						始期		1998				
							終期						
K P I	着陸料等に起因して減便や運休となった国際線の便数												
	KPI種別	下がるが良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	0 便		目標値	0 便		目標値	0 便			
	実績値	便		実績値	0 便		実績値	0 便		実績値	便		
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		
	コ ス ト		最終現計 予算額	92440 千円		最終現計 予算額	364760 千円		最終現計 予算額	428572 千円		最終現計 予算額	千円
決算額			75888 千円		決算額	361038 千円		決算額	428310 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	262 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析		要因										
			総括										
	見直し方向性		維持		7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も本事業を継続することでKPI目標の達成につながると考えられることから、8年度の執行方法や9年度の予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初

事 項	ベトナム定期航空路線誘致促進事業費							予算主管課		観光国際課			
事 業 概 要	ベトナム線開設に向け、同国での観光プロモーションや県内視察ツアーを実施するとともに、チャーター便の運航を支援するなど、本県の認知度向上と需要開拓に取り組む。							始期	2023				
								終期	2026				
K P I	松山空港チャーター便の年間利用者数												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	1506 人		目標値	1080 人		目標値	1080 人			
	実績値	335 人		実績値	623 人		実績値	311 人		実績値	556 人		
	ストック /フロー	フロー		達成率	41.37 %		達成率	28.8 %		達成率	51.5 %		
	コ ス ト		最終現計 予算額	71357 千円		最終現計 予算額	52944 千円		最終現計 予算額	47642 千円		最終現計 予算額	千円
決算額			53908 千円		決算額	23578 千円		決算額	47642 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	千円		不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 当初、3回のチャーター便運航を見込んでいたが、旅行会社や航空会社との調整の結果、2回の運航にとどまったため、目標を下回ったもの。 総括										
	見直し方向性	維持	7年度の目標達成率は低調であったものの、本事業はベトナムとの定期航空路線開設に向け、現地での本県の認知度向上やチャーター便の運航実績を積み重ねるために実施するものであることから、成果向上に向けて引き続き取り組む。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,6月補正,2月補正

6	事項	松山空港国際線活性化事業費								予算主管課		観光国際課				
	事業概要	ソウル線、釜山線、台北線について、インバウンド・アウトバウンド双方で、各種の利用促進やプロモーションを積極的に展開し、各路線の安定運航と路線の更なる拡充につなげるとともに、上海線の早期再開に向け航空会社と協議を継続するほか、現地プロモーション等を行う。								始期		2022				
										終期		2025				
	K P I	松山空港に就航する国際線（定期便）の年間の利用者数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	11.8 万人		目標値	33.3 万人		目標値	41 万人		目標値	44.8 万人		
		実績値	万人		実績値	12.6 万人		実績値	32.2 万人		実績値	39.5 万人		実績値	万人	
		ストック フロー	フロー		達成率	106.8 %		達成率	96.7 %		達成率	96.3 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	311573 千円		最終現計 予算額	1085396 千円		最終現計 予算額	799117 千円		最終現計 予算額	千円		
	決算額			297557 千円		決算額	776072 千円		決算額	799117 千円		決算額	千円			
						繰越額	千円		繰越額	千円						
						不用額	千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因 上海線の運休及び釜山線の減便による。														
		総括														
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は概ね想定どおりの成果が出ており、8年度以降も本事業を継続することでKPI目標の達成につながると考えられることから、8年度の執行方法や9年度の予算の見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初

事 項	松山空港地上支援業務人材等確保支援事業費							予算主管課	観光国際課		
事 業 概 要	松山空港国際線の受入体制の整備を図るため、県内外の若年者を対象に合同説明会や空港見学会を開催するなど、松山空港関連事業者による人材確保を支援する。							始期	2023		
								終期	2026		
K P I	松山空港関連事業者における採用充足率										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	
	実績値	%	実績値	%	実績値	98.8 %	実績値	120 %	実績値	%	
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	98.8 %	達成率	120 %	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	2100 千円	最終現計 予算額	12000 千円	最終現計 予算額	8100 千円	最終現計 予算額	千円	
決算額			2100 千円	決算額	9250 千円	決算額	8100 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円				
								不用額	千円	不用額	千円

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	本事業の実施により、松山空港関連事業者全体での採用充足率は向上しているものの、未だ充足に至っていない事業者もみられるため、事業最終年度となる8年度まで本事業を継続することで、松山空港の受入れ体制の強化につなげる。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8

当初、2
月補正

事 項		松山空港地上支援業務外国人材活用推進事業費						予算主管課		観光国際課		
事 業 概 要		航空機の運航に欠かすことのできないグランドハンドリング人材の中長期的な安定確保 につなげるため、松山空港グランドハンドリング事業者や県内教育機関と連携し、外国 人材の円滑な受入れに向けた総合的な支援を実施する。						始期	2025			
								終期	2029			
K P I	外国人向け教育カリキュラムの整備率											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %	
	ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	11513 千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	3611 千円	
							繰越額	7902 千円		繰越額	千円	
							不用額	千円		不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度に専門教育に関するカリキュラムを整備したところであり、9年度以降のグラハン事業者による外国 人材の受入れに向けて本事業を継続する必要があるため、見直し等は想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。